

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		臨床工学技士学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	演 習
科 目 名		課題研究 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年次		学期及び曜時間	後期	教室名	402
担 当 教 員		岡本 覚	実務経験と その関連資格	島根大学大学院総合理工学研究科情報システム学領域の教授として機械情報工学の教育・研究に従事(22年)。工学博士。島根大学や放送大学の非常勤講師を経験。島根大学名誉教授。			
《授業科目における学習内容》							
生体医工学・臨床工学から題材を選び、臨床工学の観点から研究に取り組む。研究活動を通し、実践的な統計処理、理工学的な分析力、問題解決能力の基礎力を学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
学科にて事前選考を行い評価とする							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
特になし(各班によって異なる)、必要な文献・データ							
《授業外における学習方法》							
様々な文献を調べ理解し、その理論構築などを習得する							
《履修に当たっての留意点》							
様々な文献を調べ理解し、その理論構築などを習得できるようにする							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1 ～ 10 回	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	研究について学ぶ		特になし	各班によって異なるが 必要な知識の集約と理 解	
		各コマに おける 授業予定	研究について理解することができる。研究テーマについて考える ことができる。				
第11 ～ 14 回	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	データ収集やデータ分析について学ぶ		各班によって異なるが 必要な内 容の書籍	各班によって異なるが 必要な知識の集約と理 解	
		各コマに おける 授業予定	分析方法や統計方法について理解できる				
第15 回	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	研究テーマを決め研究デザインを考える		各班によって異なるが 必要な データ	各班によって異なるが 必要な知識の集約と理 解	
		各コマに おける 授業予定	中間発表会で研究内容を発表できる				